



2014.7.8 (火) 10:00~12:00 新堀ライブ館2階
参加者：19名(16団体) + 乳幼児2名

～交流会議事録～

■前半：団体発表 10:00～

※前半は、連絡会会員の2団体に活動発表をお願いしました。発表順に掲載。

※発表団体からいただいた原稿をそのまま掲載しています。

【エナジーハンド CLUB 宝官さん】（エナジーフィールドから団体名変更）

エナジーハンドCLUBとは、ハンドマッサージ活動を通して社会とつながり、自分も人も元気にしたい！と願う仲間の集まりです。イベント、体験会、施設でのボランティアなど積極的に実践しています。

エナジーハンド CLUB（ハンドマッサージ）の特徴は、年齢性別に関わらず、妊娠中でも病気治療中でも受けていただける優しいタッチセラピーであることです。赤ちゃんを抱っこしたままでもできますし、車いすでも、ベッドでもおこなえます。どんな状態でも、お互いの命を慈しみ、元気をチャージする時間でありたいと考えています。

育児に真面目なお母さんほど、自分のための時間もお金も使うことをためらいます。ネイルやエステにいったりリフレッシュすることに罪悪感を感じるような方にこそ、20分、500円という時間とお金をかけて、自分のためにリラックスタイムを設けていただきたいです。

育児に対して、情報過多になりがちなママ達へ、私たちは分析・評価・アドバイスはいたしません！ですから、安心してリラックスタイムを楽しんでくださいね。

ママの笑顔が増えるように、活動を全国にひろげていきたいと思っています。

子育てサークルさんや施設へ出張ケアにまいりますので、お声をかけてくださいね。お一人20分／材料費500円／技術者2名1組で2時間うかがいます／最少6名から12名OK／活動日の1ヶ月前までに予約
※出張ケアを申し込まれた団体の取材・報告をブログなどでおこないます。広告宣伝にご利用ください。（参考：アメブロ 1,000PV／日）
<http://ameblo.jp/egfield/>

■発表に対するの意見、感想

- ・出張した先のサークル活動なども積極的に活動を宣伝していくという形は面白くていいと思いました。これなら、気軽に頼めそうですね！
- ・実際私も1月に宝官さんたちのハンドマッサージを受けてみて手を握るといのは、それだけ、相手との距離をぐっと縮める効果があると実感しました。いきなり他人の手を握っても問題にならないのは、政治家とハンドマッサージくらいかもしれないです（笑）

【NPO 法人 Gateway International Center 朝倉さん】

私たちは英語、多文化教育、環境教育を軸に幼児教育、教育から子育て支援にかかわっている団体です。子育て支援関連で1番近いイベントが11月8日にここ（ライブ館の2F スペース）を使って、秋祭りをします。入場無料で、ステージでショーをしたり、子どもたち向けに工作やゲームブース（補足100円〜）を出したり、カフェやマーケットでバザーとは少し違うかもしれませんが、手作り品や商品を買ってもらいその収益を他団体の活動資金などに寄付するといったものの販売をします。まさにここで（新堀ライブ館）やりますので、お時間があう方はどうぞ、遊びにいらしてください。

Gateway International Center は、1997年一人のアメリカ人のお母さんが自分の子どもに一番いい教育とは何かを考えて小さなプレイグループを作った所から始まりました。日本の幼児教育の良いところと自分の受けてきた教育の良いところをあわせてインターナショナルスクールの幼稚園ができたのが2001年。藤が岡のアパートに移りました。その後、園児の兄弟やもっと小さい子0歳〜4歳の親子で英語に親しむシードリングス、親子で集まり手作りおもちゃや歌手遊び、ゲームなどを行っています、卒園した子、帰国子女のためにとサンビームスことができました。

もうひとつ重視しているのが、ユネスコのリビングバリュープログラムといって、日本でいうところの道徳に近いもので、人が本来持っている寛容や正直さなどを、おかあさんは子育てなどで忙しくしていると忘れてしまいがちな（補足：基本的な12の価値について）価値を普段の生活の中で使いながら思い返していく、子どもたちには、歌やお話、ゲームを使って身近なものにしています。リーフレットをお配りしましたが、7つのプログラムをやっているのですが、すべてにこの要素を取り入れています。

2004年から、NPO 法人として活動しているので、10年になります。NPO 法人とは、活動で得た利益の中から諸経費などを差し引いた純利益を団体の活動に充てるようにする法人団体です。現在、大裾に大きめの広いおうちを借り切ってそこを拠点に活動しています。活動の中で、先生を雇って教育にあたってもらっていますが、特に大切にしていることに、子どもは模倣をする存在なのでお手本になる振る舞いをしてもらうこと、大声を張り上げて威嚇するような注意をしないこと、けんかの仲裁などには、どちらが悪いということではなく双方の意見を子どもたち同士で聞きあうように導いて、子どもたちが、相手がどういう気持ちや思いがあってけんかの原因になることをしたのかを自分で理解できるようにしています。

NPO 法人にはミッションという目標を設けることになっているのですが、Gateway International Center は GIC という愛称で親しまれていますが、GIC のミッションはちょっと難しい表現になりますが「自主的な判断力と国際的な心を持ち、規則やお互いの人格を尊重するとともに、生命に対する慈しみをもったこどもを育てること」としています。教育活動のほかにも、不定期でビーチクリーンや公園清掃、老人ホームへ月1回訪問して子どもたちと遊んでもらうことなどを行っています。

（第2部のテーマの）危機管理のことに触れますと、GIC の活動中はすべてをまかなってもらえるように、あいおい損保の自賠責保険に加入しています。あと園児は一人につき年1400円ほどの幼稚園保険に加入しています。

■発表に対しての質疑応答

Q:参加人数は？

A:スタッフは先生含めて7人です。ほかにボランティアが何名かいます。園児のほうはマックスで24人ですが現在は少なくても11名です。シードリングス、ミュージックトゥギャザーは少人数制で現在4組ほどです。長期のボランティアさんにはNPO 推進センターで任意にボランティア保険に加入してもらっています。

Q:ボランティアの年齢層は？

A:中学生から大人。市民活動推進センターの冊子「volunteer」で募集をしています。学校の単位に関わっているようで高校生など学生さんが多いです。GICにボランティアに来た高校生の子たちで、幼児と英語で関わったことが本人の中でやりたいこと、進路が明確になったと言っていたことがあってそれが良かったと思います。先出の冊子に取材掲載されています。

Q:サマーキャンプなどに金額が載っていませんが・・・？

A:広告を貼りだしてもらって関係で、金額を大きく載せてしまうと貼ってもらえないなどの理由で載せていません。ホームページを作っているの、そちらを見ていただければ参加料も載せています。

Q:地域に理解してもらうためにしていること？

A:地域の清掃活動にスタッフが参加をしたり、公園や散歩途中でお会いした人に積極的に笑顔でご挨拶をするようにしています。小さなことですが、大切な交流だと思っています。

Q:以前問題になっていると話していた騒音対策については？

A:一般住宅をお借りしているので、隣接する方から苦情をいただいていた。活動を始めたころはお子さんが小さく、お互いさまなので、といった風で歓迎してくださっていたのですが、お子さんが大きくなって受験勉強をされているとのことでうるさく感じられたようです。受験シーズンが終わられたようで、その後はぱったりと苦情は来なくなりました。こちらの対策としては、すべての窓を二重サッシに変え（プチリフォーム）しました。子どもたちが歌う歌や泣き声、何気なくはたばたと走る音など、もれ聞こえる騒音が少なくなったと思います。

■後半：グループ交流 11:00～

テーマ

「活動上のトラブルや困り事、危機管理など、気をつけていることはなんですか？」

活動をする中では、事故や事件 ちょっとしたトラブル、予期せぬ災害もあるかもしれません。災害時の避難経路は？ 読み聞かせの本破られたらどうしよう…。参加者の個人情報管理。日頃の備えやちょっとした対応で回避できることもあるかもしれません。どんなところに気をつけて、楽しい活動とするのか、みなさんと共有できたらと思います。

※2人以上で来られている団体の方は、別々のグループに分かれていただきました。

◆A グループ

※以下敬称略

参加者：青空自主保育でんでんむし 松本、エナジーハンド CLUB 宝官、湘南おっぱい育児の会 渡邊、子育て支援グループゆめこびと 有田、こぼと文庫 蔭山、地域魅力 大友、善行あいの会 土屋

★活動上のトラブルや困り事、危機管理など気をつけていること

・外の活動なのでケガが心配。保険に親子で入っている。虫さされやケガの対応マニュアルのファイルを作り、当番が持っている。避難経路や病院、タクシー会社の電話番号、地図などが入っている。保護者も応急手当や心肺蘇生法の講習を受ける。ケガなどをした場合は、原因や危ない箇所など全員で共有する。地震などの災害のために災害用伝言板サービスの登録や伝言ダイヤルの練習をしている。

(青空自主保育 でんでんむし)

・施術者はプロなので、個々でマッサージの協会やアロマ協会の保険、アロマ保険などに加入している。無償ではなく、参加者が不特定のため、加入できる保険がなかなかない。事故が起きないように配慮しているが、過去には一筆書いてもらっていた。

(エナジーハンド CLUB)

・不特定な集まりなので保険には入っていない。毎回保育ボランティアさんが1～2名入っている。10年以上使っている労働会館の和室の隣の外の広場に子どもたちが出て、怒られてしまった。自己責任ということで、保育ボランティアさんがかけあってくれたが、何かあっては困るということで出られなくなりました。来てくれたお子さんが障子を破ってしまうことがあって、謝るしかない。(湘南おっぱい育児の会)

・メンバーは全国社会福祉協議会のボランティア保険に加入している。講座では講師、参加者、保育者にイベント保険をかけている。でんでんむしさんのマニュアルファイルはとても参考になった。（ゆめこびと）

・市民の家を使って 13 年目。部屋が広く、子どもの動きによってはヒヤっとすることもある。注意喚起して対応していくしかない。網戸を何度張っても破れてしまうのか、今は張られていない。（こばと文庫）

・遠藤にある藤沢市のリサイクルプラザ藤沢の環境啓発棟の運営を受託している。ガラス玉づくりや環境のワークショップなどを開いている。もっと親子が気軽に訪れられるような場にしていきたい。（地域魅力）

・つどいのひろばとして、子育てひろば全国連絡協議会に入会して、ひろば保険に加入している。施設内での職員、利用者の傷害や帰りの事故や野外活動も対象となる。以前に一度子どもが骨折してしまったことがあった。見舞金が出た。ひろばでは年 2 回の避難訓練が義務付けられている。消防士を招いてスタッフや利用者への勉強会を開いたり、救急救命の講習を受けたりしている。過去には利用者同士のトラブルもあった。利用者さんへの接し方、信頼関係や人間関係が大切。（善行あいの会）

◆Bグループ

参加者：藤沢市せっけん推進協議会 手塚、からふる・ふれんど 飯田、藤沢市主任児童委員連絡会 松本、湘南どんぐりひろば 原田、Hagiwara International Piano School 萩原、ベビーず★かふえ 林

★活動上のトラブルや困り事、危機管理など気をつけていること

・こどもたちに石鹸づくり体験をしてもらっている。その際、保険に加入する。石鹸作りに使う「苛性ソーダ」は、皮膚につくとやけどするので、最初にこどもたちなど参加者に十分な説明をしている。軍手をはめて作ってもらうが、以前、苛性ソーダのついた軍手のままつい顔をぬぐってしまった子がいて、その時はすぐに対応した。体験を通して安全に出来るように試行錯誤してきた。現在は低学年の子は必ず保護者つきで、親子で体験してもらうようにしている。後片付けもこどもたちにさせられないので、私たちスタッフの方で行っている。（藤沢市せっけん推進協議会）

・障がい児とその親のための活動をしている。活動日に自分が行けない時、活動を理解してくれている他の親や支援者に頼むことがある。あらかじめ参加者がわかっているとき（特に初参加者）には、その親子（参加者）についての最低限の情報を代理の方に伝えてお願いしている。個人情報なので伝え方に注意している。（からふる・ふれんど）

・公民館でリトミックを教えている。メッセ冊子にも載っているが、公民館の掲示板でも宣伝している。参加者のお友達や口コミで来られる方が多いので、参加者同士のトラブルといったものはない。

・「どんぐり広場」のなかでは親子できてもらっているので、親とスタッフ両方で目を配っていて、危険があった経験はない。自分が個人でしている別の活動でのこと。親子で来てもらっているが、パイプイスの小さな隙間に子どもが指を挟んでしまったことがあった。子どもは大人が予想しないようなところでけがをすることがある。（湘南どんぐり広場）

・アメリカの幼児リトミック、ミュージックトゥギャザーをしている。アメリカのほうでは、活動の時、保険をかけないといけないきまり。日本には、活動に適した保険がないので、日本でそのままミュージックトゥギャザーの活動をしようとする場合、何かあった時は「自己責任」として、本部に書面を出さないとけない。（Hagiwara International Piano School）

・学校は、生徒の個人情報に気を使っている。PTAの広報でも、生徒の写真を使うのが難しい。はっきり個人がわかる写真は使えない。どうしても写真使用の可否が確認しやすい広報委員の子どもの写真ばかり使うようになる。

・日本のボランティア保険ではカバーしきれないことがある。

・社会活動に関する保険があったと思う。

・今後、多様な活動に適した保険のリストがあると嬉しい。

◆Cグループ

参加者：湘南どんぐりひろば 榊原、主任児童委員 松本、日本親子ダンス協会ファミリズム 加藤、青空
自主保育でんでんむし 亘理、つどいの広場／ひよこ会 東、Gateway International Center 朝倉

★保険や個人情報についての扱い、対策や困ったことなどについて

・善行の協会に入ると入会金が8000円かかるが、自賠責保険に自動加入できる。物損は自賠責で対応できる。怪我にはスポーツ安全協会の保険が便利。個人情報は職員以外は見ない。鍵をかけて保管。入会はチラシ、卒園生からの紹介が多い。
(ひよこ会)

・ウェブサイトの情報が別の地域で広がる。
(湘南どんぐりひろば)

・一文をいれて子育てネットのアドレスを入れてもらうなどするといいいのではないかと
(Gateway International Center)

・予算が使えるので、自宅ポスティングができる。写真（後姿、遠目で＋写真掲載を承諾してもらっている）市民センターが保険をかけている。子育てネット＋スーパー、小児科にお知らせを貼らせてもらっている。お母さんたちはわりと写真OK、怪我も今のところはない。
(主任児童委員)

・メンバーになると、保険担当者がスポーツ安全保険に入れる。親子での登録にしている。月に1回少年の森で野外キャンプや海、広町緑地での活動なので、怪我はしょっちゅうある。救急車はないが。何針か縫う怪我はある。マニュアルブックを持って活動している。責任は共同責任で共同意識を持つのが、難しい。4月にアンケートをとっている。（何にたいして不安、危険であるか。結果が様々なので、その集計をメンバーで共有し、話し合いで意識のみぞを埋めていっている。迷子・怪我について、保育者と保護者で10人強をみている。何かあったときには報告する責任がある。個人情報はメンバー以外に出さないように徹底。ホームページでは、裸はのせないことに話し合いで決めた。（本には自然遊び中の裸の写真が掲載されている）特に写真がだめな家庭はない。
(青空自主保育でんでんむし)

・ハーフの子どもで写真NGがいた。集合写真や宣伝用写真などでいかにもNGにならないように工夫した。
(Gateway International Center)

・おもちゃの写真、後姿が多い。お店の上なので、お昼も食べられる。スタッフは2～3名がいるようにしている。室内なので、0～2歳が多い。平日第2金曜日。広場で活動中の事故は、コープの活動傷害見舞金がある仕組みになっている。広場の来場者名簿がその代わりとなる。
(湘南どんぐりひろば)

・週に1回ダンス教室を開いている。保険加入前、CDデッキをいじって壊れたり、鏡が割れたことがある。その際は、みなで割り勘して弁償した。今は入会時に全員保険に加入してもらうことにした。0～3歳注意しあえるようなつながりのある仲間になっていなかったが、ママ友になって、レッスン外でも仲良くなってもらったり、お互いの子供をみて注意するなど意識を高くした。ハルーンで子どもの集中が続くような遊びを取り入れて工夫をしている。
(日本親子ダンス協会ファミリズム)

★話し合いの感想

どの団体も自賠責保険や傷害保険などに意識して入っていました。個人情報はメンバー間でのみ共有している、スタッフや保育にあたる人は中であつたことなどを口外しないなど決めていました。ホームページに写真などを掲載することが多くなっていますが、保護者に参加者の写真を載せることに了解を得てから載せるようにしたり、後姿や遠目の写真を使うように工夫している様子が伺えました。それでもおおむねお母さん方は写真を使うことに快くOKをくれている、とのこと。避難訓練を定期的に行っている団体、スタッフが救急マニュアルを持って活動している団体がありました。また、困ったこととしては、子育てネットふじさわなどに掲載された情報が別の地域の情報サイトにでたことがあり、更新情報がされずにいること、などがありました。

子どもの怪我などに使えるおすすめの保険として、スポーツ安全協会のスポーツ安全保険が一人850円/年 1回1500円出るとのこと。横浜銀行で申し込みでき、便利という情報をいただきました。

■交流会終了後の感想・意見

※ それぞれ、感想を書きいただきました。

記名のあるものは、そのままお名前を掲載させていただきました。

・こういった子育て支援活動に携わる団体の皆さんのお話を伺える機会、日常の活動の中での身近な問題や活動している中で見つけてきた魅力などをお聞きできる機会はとてもありがたいです。今後取り扱っていただけたら嬉しいテーマとしては、団体の活動を継続してゆくための経営やスタッフ間の共通認識など、皆さんが大切にされていることを伺えたら嬉しいです。今回の保険のお話は、団体内でも悩みの種でしたので、いろいろ伺え参考になりました。ありがとうございました。

・とても有意義でした。参加することでいろいろな団体の方々とお知り合いになれるのが良いと思います。今日も良い刺激を沢山もらい、活動に生かせそうです。ありがとうございました。保険の情報、ぜひとも頂きたいです。うちのような小さな活動でも利用できるものがあると良いのですが。

話は変わりますが、先日利用者の方でカウンセリングを受けたがっている人がいらっしまったのですが、きちんと案内しきれなかったという経験をしました。”こういう相談機関が使える”等、ケースによってどこへ相談したらよいかわかっていたら、きちんと対応できたのと思ったのですが…。情報の種をたくさん仕入れたいと思った出来事でした。
(こぼと文庫 蔭山)

・初めて交流会に参加して、知らなかった会の内容を知れ、興味深かった。なかなか交流する機会がないので、良い機会でした。各団体ならではの悩み、トラブル、危機管理があり、ディスカッションすることで参考になりました。
(青空自主保育でんでんむし 松本)

・今日は子どもがチョロチョロしていて、話に集中できませんでした。話の内容がとぎれとぎれで感想が書けずすみません。保険についてなどで、まとめて資料にさせていただけるととても嬉しいです。お騒がせして申し訳ありませんでした。
(湘南おっぱい育児の会 渡邊)

・基本的に信頼関係が大切だけど、活動場所が決まっているところには、外部から来る参加者に対して保険対象になると安心だと感じました。エナジーハンド CLUB は活動先がいろいろなので、加入できる可能性がない気がします。
(エナジーハンド CLUB 宝官)

・広場や自主保育、活動内容、おのこの形態で保険の種類がある事。そもそも活動をするにあたって、保険の重要性を考えさせられました。勉強になりました。

・今日は有意義な交流会をありがとうございました。保険の詳細などいろんなお話を聞くことができよかったです。

・本日、会にはじめて参加させて頂きました。子育て支援に色々な形でかかわる方がいらっしやることが少しわかりました。皆さま志しの高い方との印象を受け、今後の話し合いが楽しみになりました。私どもの会では、スポーツ安全保険、ボランティア保険（社福協議会）を利用しています。保険の事、個人情報のこと、大変勉強になりました。
(青空自主保育でんでんむし 亘理)

・エナジーハンド CLUB の活動を聞いて、自分も体験してみたいくなった。子育て中のお母さんがリラックスできる場として活動しているので、もっと活動を広げていけると良いと思いました。ゲートウェイ、インターナショナルについて、聞いた事はありませんでしたが、説明を聞いたのが初めてだったので、いろいろな事をしているのがわかりました。保険について、活動団体で入っている保険について聞けて良かった。これからは事故が起きた時の保険についてももう少し知りたい。片瀬地区「にこにこ広場」で加入している保険については、詳しくわからないので調べておきます。
(主任児童委員 松本)

・保険について、いろいろ教わったけど、リストアップがあればとても嬉しいです。活動紹介の話もいろいろ聞けてよかったです。会場もとてもよかったです。

・藤沢市に保険のリストアップをしてほしい。小さなイベントやクラスで来場している人に対しておける保険が知りたい。写真を使う時のルール作りが必要。

・保険情報、うちではあいおい損保をメインに、活動中の自賠責保険、園児には幼稚園保険に入ってもらっている。グループトークでスポーツ安全協会が使いやすいとの情報をいただいたので、ぜひ検討してみたいと思った。野外保育児の安全マニュアルを使っている点はとても有効でいいアイデアだと思いました。今日はずたない発表で失礼しました。
(Gateway International Center 朝倉)

・保険という面も活動上必要だが（ハードな部分）、活動上、利用者同士の信頼を深める意識を持たせたり、利用者（会員）の意識の共有を深める（ソフトな部分）は大事だなと改めて思いました。ボラ保険、つどいの協議会（保険）などの情報を市のも含めてリストUPしてほしい。

(湘南どんぐりひろば 榊原)

◆交流会の出欠票にあった意見等◆

○私達の広場では、世界のグット・トイを手にして、遊びの楽しさを楽しんでいただくこと、そしてあそびをとおして、親子のふれあい、親同士の交流を深められることによって、子育ての一助になればと願い、月1回（第2土）場を提供している団体です。最近はおそびの広場への参加者が少なくなってきております。対象者への案内や宣伝が不十分な面も認めますが、今後の継続について、思案しているところです。今の希望は、対象者にあそびの広場がどこでいつ実施されているよという案内を子育て支援連絡会の名で全体の団体を紹介してもらえようような案内を出してもらえると利用者も増えるのかなと思います。

(あそびの広場かわせみ)

○夏の事業として「ライフセービングスクール」を行いますが、特に津波等の対策は、下見等の時、確認して、避難経路や避難ビルをスタッフがそれぞれ理解して当日を迎えるようにしています。

各事業を行う前には3分間KYTなど安全についての話をしています。

安全共済会に会員は全員加入し、もしもの時の対応に備えています。
(藤沢市子ども会連絡協議会)

----- 最後までお読みくださってありがとうございました。

次回のふじさわ子育て支援連絡会交流会は

10月8日（水）10時～

新堀ライブ館で行います。

ご参加をお待ちしています。